

ずいそう

ひむかの国 こども落語全国大会を振り返り



黒木 繁人

2025年7月26日～27日に「第15回 ひむかの国 こども落語全国大会」が宮崎県日向市で開催されます。コロナ禍で2回ほど中止となりましたが、無事に継続できています。北は北海道から南は九州までの小学生・中学生・高校生、約50人が参加予定です。去年はアメリカからの参加もあり、少しグローバルな雰囲気になりました。

1枚の新聞記事から始まった出会い

この大会のきっかけは、落語家・柱大黒さんとの出会いでした。彼の特集記事が地元紙「宮日新聞」に掲載されていたのです。

プロの落語家を目指していた彼は、一度破門となり地元へ戻りました。しかし落語を諦めきれず、アマチュアとして活動しながら地域の子どもたちに落語を教えていました。

落語好きな私は彼にコンタクトを取り、食事をしながら落語談義に花を咲かせました。話すうちに、阿吽の呼吸で意気投合し、「こども落語の全国大会をやろう!」と即決。こうして18年前、大会の歴史が始まりました。



写真一 こども落語全国大会第4回ポスター



写真三 記念すべきこども落語全国大会第1回ポスター



写真二 こども落語全国大会第14回ポスター



写真四 予選会場の様子

「お笑い発祥の地」宮崎

第1回の全国大会には全国から約60名の子どもたちが参加しました。当初の大会名は「お笑い発祥の地宮崎 こども落語全国大会」。

ところが、夜の懇親会で大阪の親御さんから「お笑いの発祥は大阪であり、お笑いの中心も大阪だ」とクレームが入りました。確かに世間的にはそう思われているでしょう。

しかし、「お笑い発祥の地 宮崎」には、神話に基づく由来があります。

それは天照大神の「天岩戸伝説」。

天照大神が天岩戸に隠れて世界が暗闇に包まれた際、神々は歌や踊りで彼女の興味を引き、外へ誘い出しました。やがて天照大神が顔をのぞかせると、世界が再び明るくなり、神々の顔が白くなりました(=「面白い」)。

つまり、日本のエンターテインメントのルーツは、この「ひむか(日向)の国・宮崎」にあるのです。

この話をすると、大阪の親御さんたちも納得され、大いに盛り上がりました(笑)。

「落語が地球を救うかもしれない委員会」

落語は、座布団1枚の上で練り広げられる話芸。

古典・新作、人情噺・芝居噺・夫婦噺など、喜怒哀楽を通して人生の機微を表現します。そこには“情”があるのです。

柱大黒さんがふと口にした言葉が、今も忘れられません。

「この実行委員会は、『落語が地球を救うかもしれない委員会』ですね。」



写真-5 スタッフ裏方Tシャツ

日本の落語が世界に広がれば、意外と本当に平和な世の中になるかもしれません。

プロになった子どもたち

これまでの大会出場者の中から、プロの落語家になった子どもが6人ほどいます。

「〇〇師匠のもとに弟子入りしました」と、彼らから丁寧な報告メールをいただくたび、親心のように「立派な落語家になってほしい」と願っています。

その中から、春風亭弁橋さんと桂枝之進さんに、大会の魅力について伺いました。

春風亭弁橋さん

「高校2年生の時に1度だけ出場しましたが、技を競うだけでなく、落語好きの仲間たちと友情を築けたことが何よりの財産です。進む道は違えど、今でも交流が続いています。」

桂枝之進さん

「学生時代に4回参加しました。しのぎを削り、熱く競い合った思い出の中で、特に印象的だったのは、参加者のレベルの高さ。あまりにも上手すぎて、思わず弟子入りしそうなほどです。」

プロ養成所ではありませんが、未来の伝統芸能を支える子どもたちのためにも、大会を続けていきたいと強く思います。

こどもの「屈託のない話芸」

こどもの落語は、時にプロを超える魅力があります。



写真-6 審査委員長 桂歌春師匠と審査員 桂文太師匠



写真—7 これから決勝—こどもたちの緊張



写真—8 スポンサーボード前の筆者



写真—9 リハーサルでのオープニング練習風景

特に小学生の落語には、幼い風貌と語り口のギャップがあり、多くの大人が胸を打たれます。話を聞いているうちに、涙を流す人もいます。

しかし、大会である以上、勝敗はついてしまいます。決勝に残れなかった子が、ホテルで一晩中泣き明かすこともあります。親御さんも大変です。

けれど、決勝戦になると、敗れた子どもたちが仲間を応援する姿が見られます。

「来年も会おう！」

この一言が、大会を支える私たちの励みにもなっています。

「笑う門には福来たる」は本当の話

こどもが芸を披露し、親が笑う。

祖父母や親戚も笑う。

地域全体が笑顔に包まれる。

そんな笑顔があふれる地域には、明るい未来が待っています。

この大会を、大都市・東京や大阪で開催するのではなく、あえて宮崎県日向市で続けることに、大きな意義があるのです。

今年も7月26日～27日、宮崎県日向市で、こども落語全国大会が開催されます。

笑いが、夏の暑さを吹き飛ばしてくれるでしょう！お後がよろしいようで……。

—くろき しげと 旭建設(株) 代表取締役社長—